

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月8日
【四半期会計期間】	第39期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社フライングガーデン
【英訳名】	FLYING GARDEN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 野沢 八千万
【本店の所在の場所】	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号
【電話番号】	0285（30）4129（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 片柳 紀之
【最寄りの連絡場所】	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号
【電話番号】	0285（30）4129（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 片柳 紀之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第2四半期 累計期間	第39期 第2四半期 累計期間	第38期
会計期間	自2018年 4月1日 至2018年 9月30日	自2019年 4月1日 至2019年 9月30日	自2018年 4月1日 至2019年 3月31日
売上高 (千円)	3,761,117	3,608,399	7,321,877
経常利益 (千円)	218,547	110,513	327,881
四半期(当期)純利益 (千円)	136,987	70,079	275,701
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	579,900	579,900	579,900
発行済株式総数 (株)	1,449,168	1,449,168	1,449,168
純資産額 (千円)	1,755,880	1,921,156	1,894,435
総資産額 (千円)	3,257,384	3,309,293	3,344,678
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	94.78	48.49	190.75
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	30.00
自己資本比率 (%)	53.9	58.1	56.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	179,666	75,239	347,212
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	72,610	132,536	162,762
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	86,171	27,972	142,859
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	354,915	346,295	375,620

回次	第38期 第2四半期 会計期間	第39期 第2四半期 会計期間
会計期間	自2018年 7月1日 至2018年 9月30日	自2019年 7月1日 至2019年 9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	64.56	28.68

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等を含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであり、将来に関する事項には、不確実性を内在あるいは、リスクを含んでいるため、将来生じる実際の結果と大きく異なる可能性もあります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化等により先行きは不透明な状況が続いており、個人消費も節約志向による停滞が続いております。

外食業界におきましては、停滞する個人消費に加え、原材料価格の上昇や人手不足を背景とした人件費高騰など、依然として経営環境は厳しい状況となっております。

このような環境下で、当社は爆弾ハンバーグを中心とした商品力の向上に取り組んでまいりました。

店舗数につきましては、当第2四半期累計期間中に出退店を行いませんでしたので、前期末と変わらず61店舗でした。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、販売促進に努めたものの、既存店の売上高が伸び悩み、かつ、つくば西平塚店の改装休業による売上高減少もあり、売上高は3,608,399千円(前年同期比4.1%減)となりました。

利益面では原価率の低減やコストコントロールに努めたものの、人件費等販売費及び一般管理費の増加により、当第2四半期累計期間の営業利益は84,944千円(前年同期比59.9%減)、経常利益は110,513千円(前年同期比49.4%減)、つくば西平塚店の移転新築による収用補償金87,180千円及び同店舗の固定資産圧縮損71,809千円の計上等により、四半期純利益は70,079千円(前年同期比48.8%減)となりました。

なお、2019年10月13日に台風19号の豪雨の影響により河川氾濫が発生し、茨城県水戸市の水戸北IC店が浸水し、現在営業を休止しております。業績への影響は現在のところ調査中ではありますが、適時開示が必要な場合は速やかに開示いたします。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

資産は、前事業年度末と比べ35,385千円減少し、3,309,293千円となりました。主な要因は現金及び預金の減少109,786千円及び有形固定資産の増加69,138千円によるものであります。

(負債の状況)

負債は、前事業年度末と比べ62,106千円減少し、1,388,136千円となりました。主な要因は有利子負債の増加71,378千円、買掛金の減少32,860千円及び圧縮未決算特別勘定の減少87,180千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比べて29,325千円減少し、346,295千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は75,239千円(前年同期比58.1%減)となりました。これは主に税引前四半期純利益124,488千円を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、使用した資金は132,536千円(前年同期比82.5%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出199,669千円を計上したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、獲得した資金は27,972千円(前年同期は86,171千円の使用)となりました。これは主に短期借入金の純増額100,000千円及び配当金の支払額43,405千円を計上したことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題において重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 主要な設備

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,449,168	1,449,168	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注)
計	1,449,168	1,449,168	-	-

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式は100株であります。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	1,449,168	-	579,900	-	496,182

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
野沢八千万	群馬県桐生市	416,390	28.81
有限会社アクティヴ	群馬県桐生市新宿1丁目11-8	120,960	8.37
野沢卓史	栃木県小山市	66,124	4.58
野沢通子	群馬県桐生市	54,144	3.75
野沢良史	群馬県桐生市	51,724	3.58
F G持株会	栃木県小山市本郷町3丁目4番18号	48,616	3.36
須田忠雄	群馬県桐生市	31,844	2.20
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4丁目1-25	28,800	1.99
綾羽静江	徳島県鳴門市	23,300	1.61
ザ バンク オブ ニュー ヨーク メロン140040 (常任代理人 株式会社みずほ 銀行決済営業部)	240 GREENWICH STREET, NEW YORK, NY 10286, U. S.A (東京都港区港南2丁目15-1 品川インター シティA棟)	20,500	1.42
計	-	862,402	59.67

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,800	-	権利内容に何ら限定の ない当社における標準 となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,434,800	14,348	同上
単元未満株式	普通株式 10,568	-	同上
発行済株式総数	1,449,168	-	-
総株主の議決権	-	14,348	-

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又 は名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社フライング ガーデン	栃木県小山市本郷町 三丁目4番18号	3,800	-	3,800	0.26
計	-	3,800	-	3,800	0.26

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、監査法人A & Aパートナーズによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	687,582	577,795
売掛金	76,791	72,827
商品及び製品	4,555	4,059
原材料及び貯蔵品	31,769	29,418
その他	63,904	74,301
流動資産合計	864,602	758,403
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,618,373	3,712,653
構築物	869,422	881,843
工具、器具及び備品	404,869	401,605
その他	630,270	635,367
減価償却累計額及び減損損失累計額	4,043,454	4,082,851
有形固定資産合計	1,479,480	1,548,618
無形固定資産		
投資その他の資産	179,808	180,015
差入保証金	302,923	293,569
保険積立金	315,745	315,745
その他	206,555	216,403
貸倒引当金	4,437	3,463
投資その他の資産合計	820,787	822,255
固定資産合計	2,480,076	2,550,889
資産合計	3,344,678	3,309,293
負債の部		
流動負債		
買掛金	221,686	188,826
短期借入金	-	100,000
1年内返済予定の長期借入金	56,558	50,852
未払金	323,851	331,979
未払法人税等	49,475	70,271
ポイント引当金	10,100	9,900
賞与引当金	62,400	54,996
圧縮未決算特別勘定	87,180	-
その他	151,485	113,484
流動負債合計	962,737	920,309
固定負債		
長期借入金	40,124	17,208
退職給付引当金	124,628	126,409
役員退職慰労引当金	170,076	170,594
資産除去債務	129,204	130,342
その他	23,472	23,272
固定負債合計	487,506	467,827
負債合計	1,450,243	1,388,136

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	579,900	579,900
資本剰余金	496,182	496,182
利益剰余金	824,593	851,314
自己株式	6,240	6,240
株主資本合計	1,894,435	1,921,156
純資産合計	1,894,435	1,921,156
負債純資産合計	3,344,678	3,309,293

(2)【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,761,117	3,608,399
売上原価	1,174,941	1,137,055
売上総利益	2,586,176	2,471,343
販売費及び一般管理費	2,374,594	2,386,399
営業利益	211,581	84,944
営業外収益		
受取利息	614	485
受取賃貸料	21,249	20,202
受取補償金	-	15,721
その他	3,724	4,387
営業外収益合計	25,588	40,796
営業外費用		
支払利息	827	401
賃貸収入原価	16,743	14,357
その他	1,050	469
営業外費用合計	18,621	15,228
経常利益	218,547	110,513
特別利益		
収用補償金	-	87,180
特別利益合計	-	87,180
特別損失		
固定資産除却損	-	1,394
固定資産圧縮損	-	71,809
特別損失合計	-	73,204
税引前四半期純利益	218,547	124,488
法人税、住民税及び事業税	79,933	50,226
法人税等調整額	1,627	4,182
法人税等合計	81,560	54,409
四半期純利益	136,987	70,079

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	218,547	124,488
減価償却費	83,189	87,323
固定資産除却損	-	1,394
収用補償金	-	87,180
固定資産圧縮損	-	71,809
貸倒引当金の増減額(は減少)	953	974
ポイント引当金の増減額(は減少)	-	200
賞与引当金の増減額(は減少)	9,869	7,404
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,530	517
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,654	1,781
受取利息及び受取配当金	614	485
支払利息	827	401
売上債権の増減額(は増加)	3,320	3,963
たな卸資産の増減額(は増加)	4,453	2,845
仕入債務の増減額(は減少)	36,827	32,860
未払金の増減額(は減少)	21,091	16,337
未払費用の増減額(は減少)	4,674	1,699
未払消費税等の増減額(は減少)	470	18,420
その他	10,525	25,678
小計	281,635	106,685
利息及び配当金の受取額	9	7
利息の支払額	781	387
法人税等の支払額	101,198	31,066
営業活動によるキャッシュ・フロー	179,666	75,239
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	105,003	105,000
定期預金の払戻による収入	108,000	185,461
有形固定資産の取得による支出	87,546	199,669
無形固定資産の取得による支出	-	6,555
差入保証金の差入による支出	-	420
差入保証金の回収による収入	12,128	9,772
その他	189	16,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	72,610	132,536
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	100,000
長期借入金の返済による支出	42,786	28,622
配当金の支払額	43,385	43,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	86,171	27,972
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	20,884	29,325
現金及び現金同等物の期首残高	334,030	375,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	354,915	346,295

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主な内訳

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
消耗品費	122,207千円	125,790千円
給料・賞与	375,872	367,216
賞与引当金繰入額	61,500	54,024
雑給与	801,113	808,559
役員退職慰労引当金繰入額	2,530	2,944
退職給付費用	6,280	4,438
地代家賃	251,387	247,908
水道光熱費	212,943	205,234
減価償却費	72,799	77,670

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	663,872千円	577,795千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	308,957	231,500
現金及び現金同等物	354,915	346,295

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	43,360	30.0	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	43,358	30.0	2019年3月31日	2019年6月26日	利益剰余金

(金融商品関係)

当第2四半期会計期間末において、金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額に前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められませんので、記載を省略しております。

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ファミリーレストラン事業の単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	94円78銭	48円49銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	136,987	70,079
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	136,987	70,079
普通株式の期中平均株式数(株)	1,445,356	1,445,269

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月5日

株式会社フライングガーデン

取締役会 御中

監査法人 A & A パートナーズ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加賀美 弘 明 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 岡 賢 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フライングガーデンの2019年4月1日から2020年3月31日までの第39期事業年度の第2四半期会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フライングガーデンの2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。